

## 航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問 }

### 法

### 規

〔1〕 免許人が、無線設備の変更の工事の許可を受けその変更後、許可に係る無線設備を運用するためには、総務省令で定める場合を除き、どのようなことが必要か、正しいものを次のうちから選べ。

1. 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められなければならない。
2. 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を届け出なければならない。
3. 総務大臣の検査に合格した後、運用開始の期日を届け出なければならない。
4. あらかじめ運用開始の許可を受けなければならない。

〔2〕 次の記述は、送信設備に使用する電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「送信設備に使用する電波の  等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。」

1. 周波数の偏差及び幅、空中線電力の偏差
2. 周波数の偏差、空中線電力の偏差
3. 高調波の強度、空中線電力の偏差
4. 周波数の偏差及び幅、高調波の強度

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、空中線電力50ワット以下の航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、何キロヘルツ以上の周波数の電波を使用するものか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 20,000キロヘルツ
2. 25,010キロヘルツ
3. 30,000キロヘルツ
4. 35,010キロヘルツ

〔4〕 無線局が臨時に電波の発射の停止を命じられることがある場合は、次のどれか。

1. 免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用したとき。
2. 総務大臣が当該無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
3. 発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えたとき。
4. 非常の場合の無線通信が行われるとき。

〔5〕 無線局の免許が取り消されることがあるのは、次のどの場合か。

1. 免許状を失ったとき。
2. 運用許容時間外の運用をしたとき。
3. 指定外の周波数の電波を使用したとき。
4. 正当な理由がないのに、無線局の運用を引き続き6箇月以上休止したとき。

〔6〕 航空局において、空電、混信、受信感度の減退等の通信状態については、電波法施行規則では、次のどれに記載しなければならないことになっているか。

1. 無線設備の保守管理簿
2. 無線局事項書の写し
3. 無線業務日誌
4. 無線検査簿

# 航空特殊無線技士試験問題

## 法

〔7〕 次の記述のうち、無線局運用規則の規定に照らし、無線通信の原則に該当しないものは、次のどれか。

1. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
2. 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
3. 無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない。
4. 無線通信は、正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、直ちに訂正しなければならない。

〔8〕 次の記述は、航空機局の運用について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空機局の運用は、その航空機の  に限る。ただし、受信装置のみを運用するとき、第52条各号に掲げる通信を行うとき、その他総務省令で定める場合は、この限りでない。」

1. 航行中
2. 整備中
3. 離陸時及び着陸時
4. 航行中及び航行の準備中

〔9〕 無線局は、無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するときは、なるべく何を使用しなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 水晶発振回路
2. 高調波除去装置
3. 擬似空中線回路
4. 空中線電力の低下装置

## 規

〔10〕 次の記述は、航空局の運用義務時間中の聴守電波について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空局の聴守電波の型式は、 とし、その周波数は、別に告示する。」

1. A3E又はJ3E
2. F3E
3. H3E
4. R3E

〔11〕 121.5MHzの周波数の電波の使用が許される場合について無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 電波の規正に関する通信を行うとき。
2. 121.5MHz以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
3. 気象の照会のため航空局と航空機局との間で通信を行うとき。
4. 時刻の照会のために航空機局相互間において通信を行うとき。

〔12〕 無線電話通信において、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、無線局運用規則の規定により応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに、次のどれを使用して直ちに応答しなければならないか。

1. 反復願います
2. 貴局名は何ですか
3. 誰かこちらを呼びましたか
4. 再びこちらを呼んでください